

ハタラク × 暮らす × 多様性

WORK & LIFE

仕事と暮らしの 両立フェスタ

開催レポート

開催日：2024年1月8日（月）

場 所：エミフルMASAKI

フローラルコート・エミフルコート・グリーンコート

特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ

【ご挨拶】

2024年9月、ワーコラは法人設立15年を迎えます。

スタートは、17年前に「仕事と暮らし（当時は子育て）にどう向き合うか」に悩み、誰かとつながり、仕事も子育てもより良くしたい・解決したいとの思いから「ワークライフバランス向上委員会」という地域活動を始めたのがきっかけです。

当時2歳だった娘が社会に出るまでには、仕事と子育ての両立に悩まなくていい、むしろ当たり前前の社会にしたい！と。

しかしながら、女性活躍、働き方改革、SDGs、ダイバーシティと、労働環境や経営に紐づいて発せられるようになったもののまだまだ社会は変わっていません。

人口減少が進む社会で、働く人の「両立」は多様化し、当たり前となっていきます。

まずは、仕事と暮らしの両立には、どのような問題があり、それをささえる環境やサービスにはどのような工夫や取り組みがあるのか、「知る」ことが大切です。

これから日本もグローバル化するにあたり、性別だけでなく、様々な国籍、文化、背景を持った人たちを当たり前前に迎え入れ共存できる社会を作っていくダイバーシティ・エクイティ（DE&I）が進むには、まずは住んでいる地域の仕事暮らしをジブンゴトに感じる人が増えることを願って。

特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ
代表 堀田 真奈

CONTENTS

- 実施概要 1
- 当日のモヤモヤの木に集まった声 2
- 出展企業・団体アンケート（抜粋） 3
- ボランティアスタッフの声 4
- スペシャルサンクス 4

実施概要

開催趣旨

仕事と暮らしの両立の中で、様々な立場の人が、言語化できなかつたり、なんとなくストレスを感じていたりすること（＝モヤモヤ）を、話したり、相談したりできないまま生活している方も多い。

このフェスタでは、そういった多様なモヤモヤを言語化・可視化し、解決の方法を見つけるきっかけを作ることを目的とし、以下のテーマで県内外の企業にブース出展という形で自社の商品・サービスを紹介してもらうことで、「仕事と暮らしの両立」について考えてもらう機会とした。

出展内容

- ①仕事と暮らしの両立を支える商品・サービスの紹介
- ②社員が仕事と暮らしの両立をしながら働ける社内制度や取組等の事例紹介のどちらかか、もしくは両方

概要

開催日時：2024年1月8日（月） 10時～16時

場 所：エミフル MASAKI

- ・フローラルコート
- ・エミフルコート
- ・グリーンコート

出展企業：団体数 20

来場者数：約 1500 人



当日プログラム

10:00	各ブースオープン
11:00～11:25	マジシャンユッキー マジックショー 【グリーンコート】
11:30～12:15	仕事と暮らしの両立ゲストトーク 【グリーンコート】 (マジシャンユッキー&プレミアムブース企業)
13:15～13:45	マジック教室 【グリーンコート】 (小学生対象 事前予約 50名 参加費無料)
14:00～14:25	マジシャンユッキー マジックショー 【グリーンコート】
14:30～15:15	仕事と暮らしの両立ゲストトーク 【グリーンコート】 (マジシャンユッキー&プレミアムブース企業)
16:00	終了

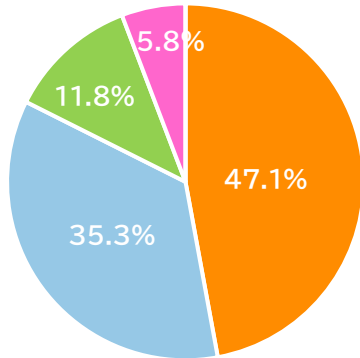
当日のモヤモヤの木に集まった声



出展企業・団体アンケート（抜粋）

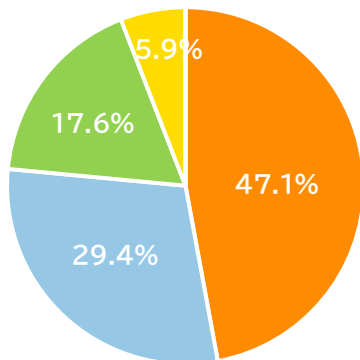
（有効回答数 17 件）

1. 今回のフェスタで、来場者の方とのコミュニケーションは取れましたか。



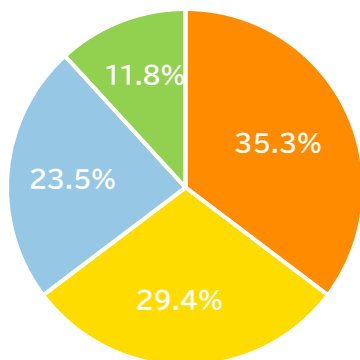
- コミュニケーションが取れた
- ややコミュニケーションが取れた
- どちらでもない
- あまりコミュニケーションが取れなかった
- コミュニケーションが取れなかった

2. 今回のフェスタで、他のブースの方とのコミュニケーションは取れましたか。



- コミュニケーションが取れた
- ややコミュニケーションが取れた
- どちらでもない
- あまりコミュニケーションが取れなかった
- コミュニケーションが取れなかった

3. 各ブースで目標としていた（イメージしていた）集客や交流、売上は達成しましたか。



- 想定以上
- 想定通り
- 想定以下
- 想定は特になかった

【出展企業・団体の感想】

BtoBのつながりができた。

一人ひとり現状が違うことでどちらも大切にした、という思いに多く触れ、今後の支援につなげられる。

モヤモヤコンシェルジュが連れてきてくれるので、ターゲット層につながった。



ボランティアスタッフの声

女性が多く、アイデアが柔軟でかつ臨機応変で、そして丁寧に良い仕事をされてらっしゃるなっていうのを率直に感じました。お出迎えから設営の準備、そして、接客に至るまで細かなところに気を配って配慮されているなっていうのを気づきました。多くの人にこのワークライフ・コラボさんの活動を知ってもらいたいという気持ちになりました。賛同してくれる会社の方やと個人の方の協力バックアップのその厚さというのを感じました。

(50代男性 会社員)

私は育休復帰後、両立がうまくいかず悪循環から抜け出せず離職を選び悩んだ経験があり、今回のイベントの一員になりたいと思い参加しました。

当日はもやもやコンシェルジュのブースを担当しました。印象的だったのはタイムマネジメントの悩みを抱えた方が多いこと、仕事の価値観のジェンダーギャップです。多様な事情に触れ、悩んでいる人の自己開示を促し様々な制度を利用できるきっかけや繋がり作りの役目が必要だとより一層思いました。

(30代女性 キャリアコンサルタント)

スペシャルサンクス

- 実行委員の皆さん 4名
- モヤモヤコンシェルジュの皆さん 5名
- 大学生・社会人ボランティアの皆さん 9名
- 株式会社アート工藝社様 (会場配置、設営、片付け)
- デジタルハリウッド STUDIO 松山様 (スタンプラリー台紙制作)
- エミフル MASAKI 様 (会場に関する全般)





人と企業と地域をつなぐ。

NPO法人ワークライフ・コラボ